

都市再生事業

～住宅団地の空き家所在地×可視化活用～



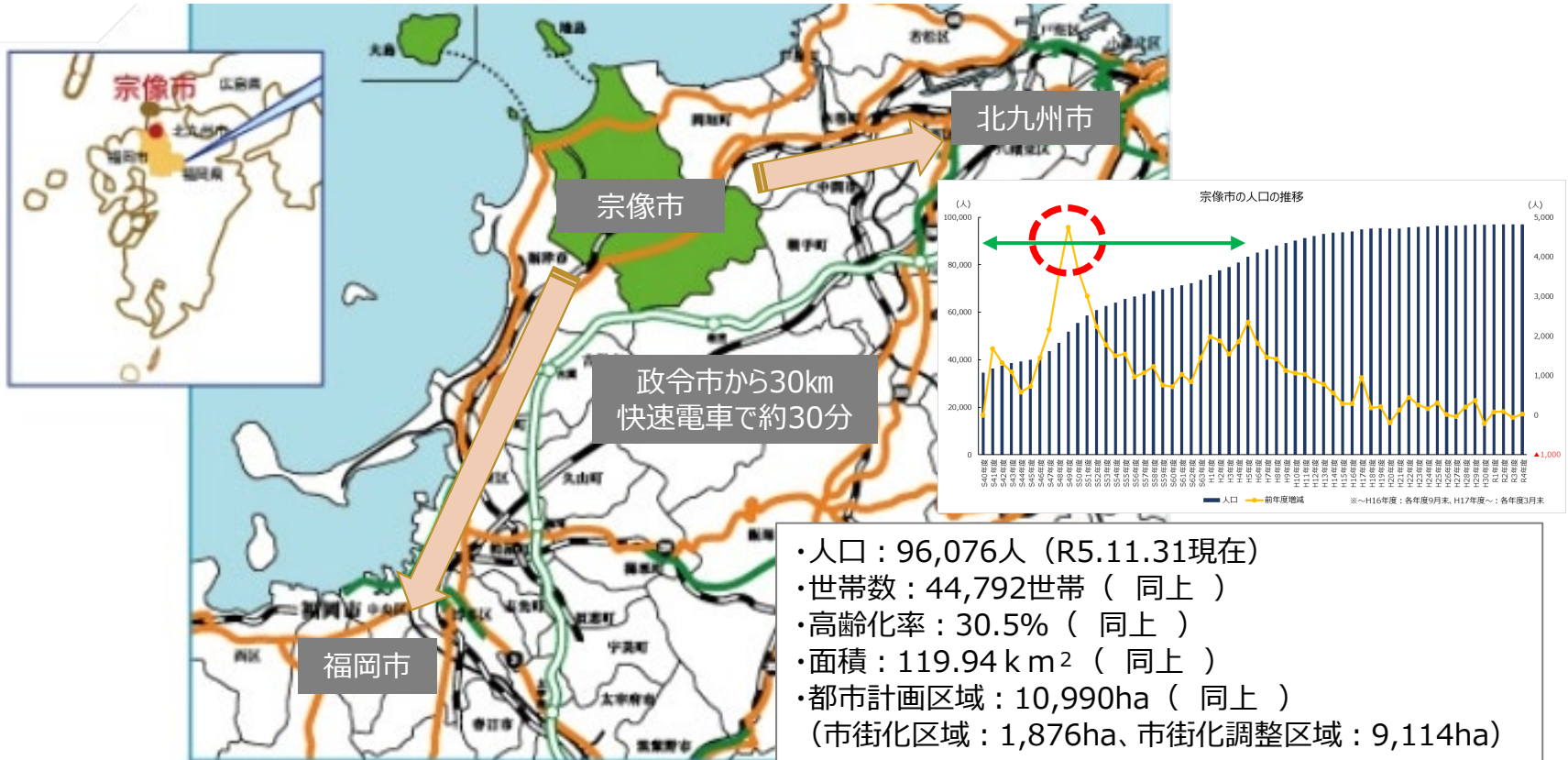
補注：国土地理院地図を使用

宗像市 都市再生課

1. 宗像市

宗像市の概要

豊かな自然に囲まれた本市は、福岡市と北九州市から約30km圏内に位置し、昭和40年頃、国鉄の電化や国道3号の開通に伴い、交通アクセスに恵まれたベッドタウンとして発展。



出典 : 宗像市HP

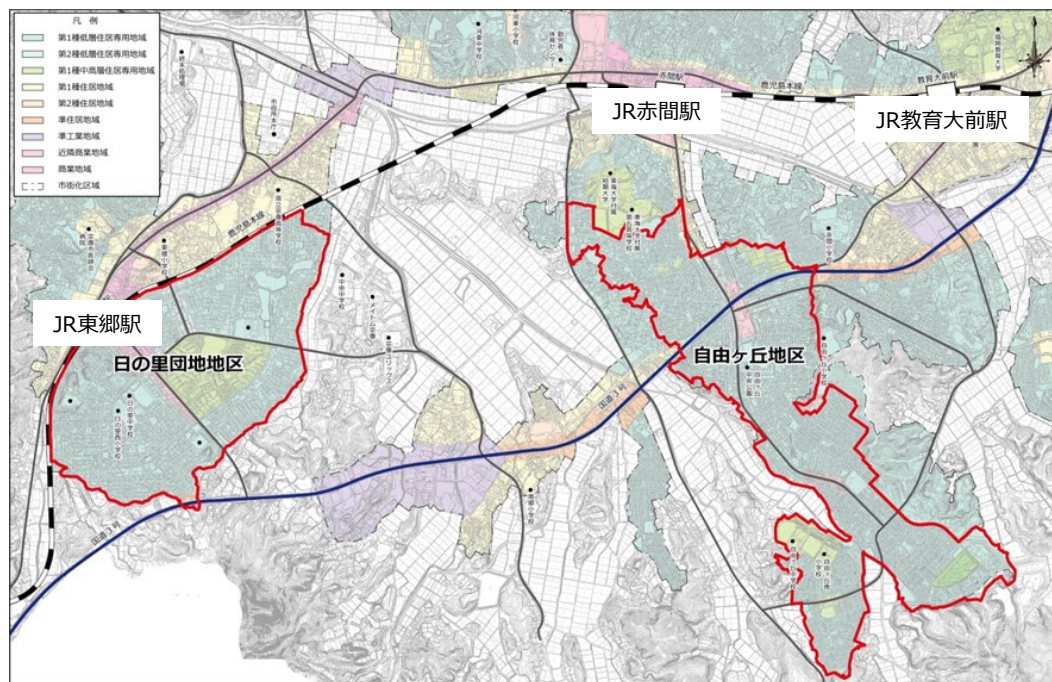
(<https://www.city.munakata.lg.jp/w001/050/010/0060/201501270779.html>)

2.住宅団地

住宅団地の概要

昭和40年代に開発が始まった大型団地は、居住人口の減少、高齢化、住宅の老朽化とともに空き家の顕在化が進行。そのため、住み替えや建て替え等の定住促進に向けた取り組みが喫緊の課題。

日の里地区と自由ヶ丘地区を住宅団地再生のモデル地区として位置付け、官民連携による住宅団地再生事業に取り組んでいる。



出典：宗像市都市再生基本方針(p.25)

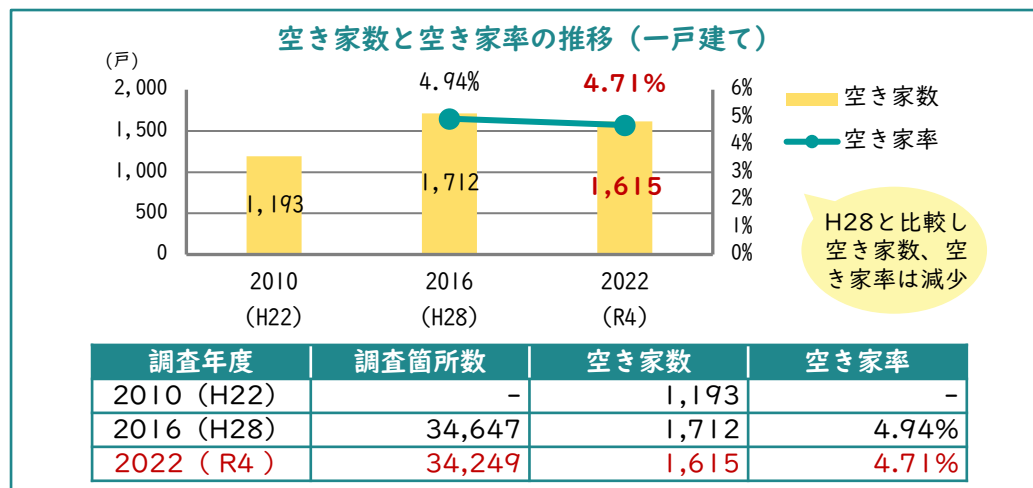
土地区画整理事業の主な実施状況

団地名	施行者	事業年度	施行面積
1 日の里	公団	S41～S45	約217.6ha
2 自由ヶ丘	個人	S40～H6	約173.9ha
3 城西ヶ丘	個人	S49～S61	約51.9ha
4 ひかりヶ丘	組合	S43～S61	約44.7ha

3.可視化活用

活用報告①～空き家等実態調査～

R4年度に実施した「宗像市空き家等実態調査」を可視化し、市内の分布を確認。調査結果の概要は以下のとおり。



空き部屋数と空き部屋率の推移（集合住宅）

集合住宅数、部屋数は増加傾向にあります。

調査年度	集合住宅数	部屋数	空き部屋数	空き部屋率
2016 (H28)	1,219	14,111	-	-
2022 (R4)	1,271	15,149	1,517	10.0%

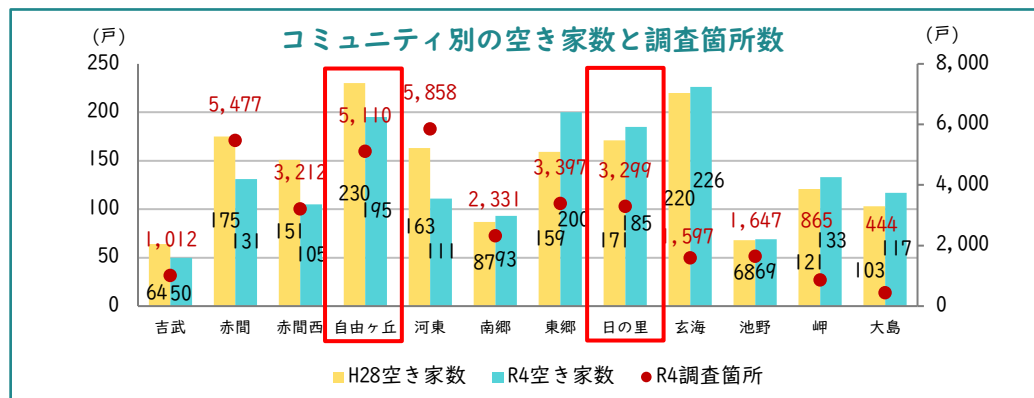


3.可視化活用

活用報告①～空き家等実態調査～



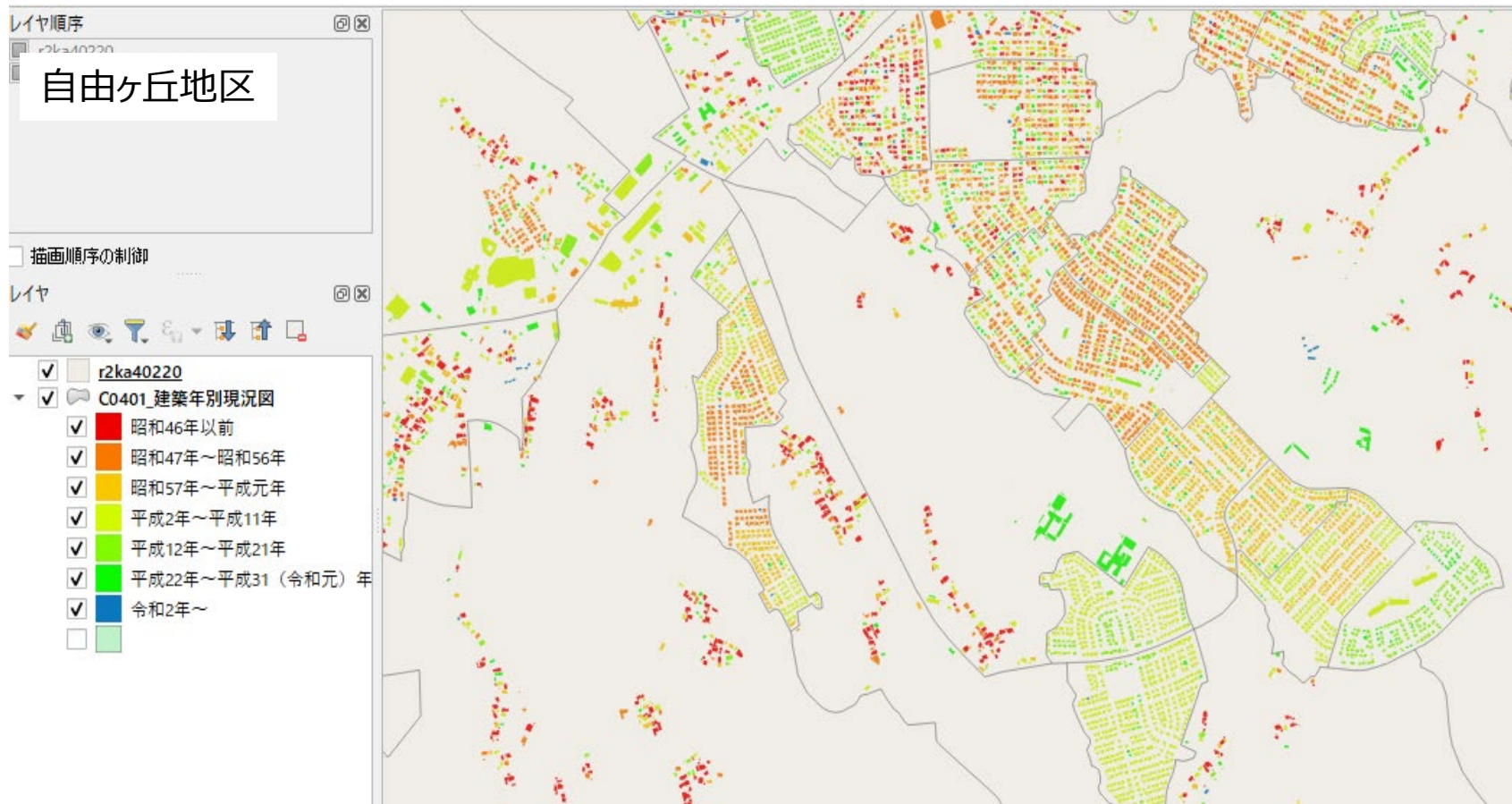
補注：国土地理院地図を使用



3.可視化活用

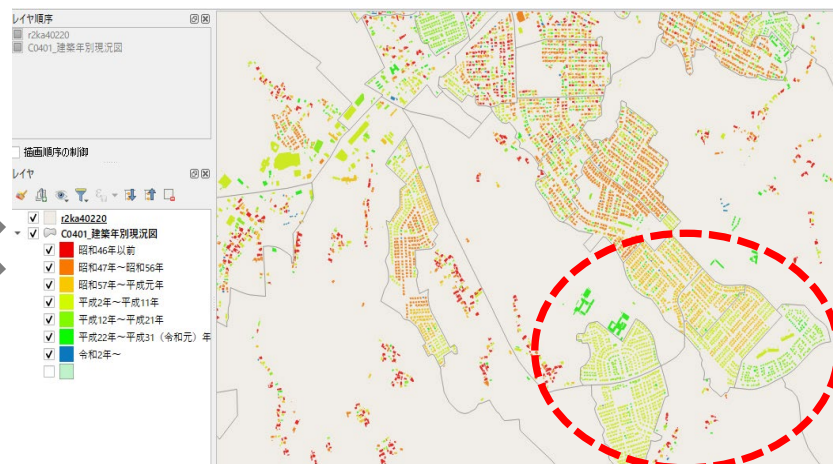
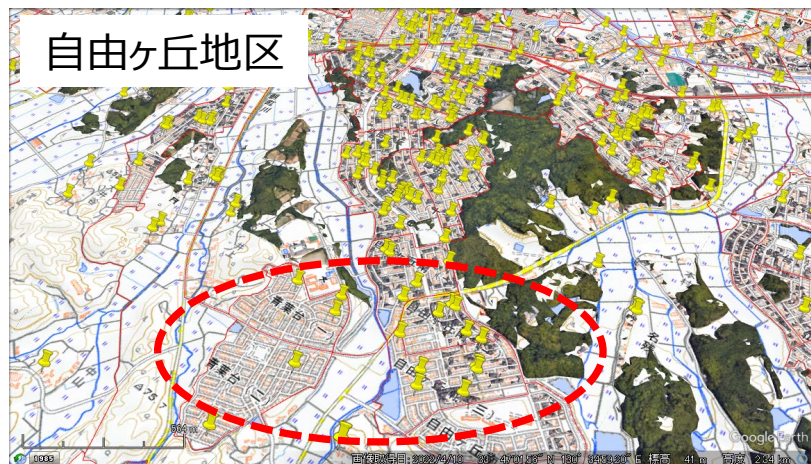
活用報告②～都市計画基礎調査～

R4年度都市計画基礎調査の建築年別現況図の可視化を検討。



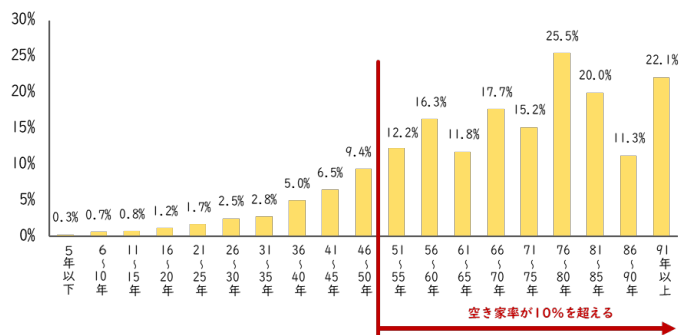
4.まとめ

活用結果



補注：国土地理院地図を使用

自由ヶ丘地区の写真でも分かったとおり、住宅の築年数を経るごとに空き家率が上昇していることが分かった。グラフでも示すことはできるが、可視化することで、地区ごとにイメージしやすい。地区の特徴を分析する手助けとなり、都市再生事業の立案に活用。



今後の活用案として、定期的の実施している空き家等実態調査の結果を同様に可視化し、経年比較を行えるようにすることで、地区ごとの空き家件数の見える化を行う。

併せて、活用案をイメージしたデータの収集も必要。

定住都市むなかたを推進しています

都市の紹介

探していたふるさと、ムナカタ。

ここは、福岡市と北九州市のちょうど真ん中に位置するまち。
海や川、山や森に囲まれた自然がいっぱいで住みやすいまち。
それではさっそく、まちや人々の暮らしに触れてみましょう。
もしかしたら、あなたの大好きなまちになるかもしれません。



待機児童数

0人

※令和5年4月時点 宗像市調べ



市立学校給食の自校式

100%

宗像市内の小中学校では自校式100%です

※自校式：学校内に調理室を有し、児童生徒の身近で調理を行うこと
給食時間に合わせた調理ができます。



人口1人あたりの公園面積

県内1位

※福岡県市町村要覧より
人口規模50,000人以上の自治体を対象



一人あたり刑法認知件数

県下2位

強盗、空き巣などの刑法犯の認知件数を人口で割った数
(比較対象：人口50,000人以上の自治体)

※福岡県統計データより令和4年4月1日人口
※福岡県警統計データより令和3年度認知件数

出典：宗像市移住・定住サイトHP

(<https://www.munakata-live.com/index.html>)